

6月の大雨災害に関し 県が管理する2級河川 の整備対応は

市長／県へ河川の氾濫浸水の解消と軽減を図るため特段の整備を要望



黒岩 英雄 議員

9月の豪雨災害について

黒岩議員 今回の大雨は

島原地方では、観測史上最大といわれ、長崎気象台は記録的短期間大雨情報を発表した。防災のあり方や被害の収集、被害の対応などについてお聞きしたい。

松本市長 本市でも河川

の氾濫や土砂災害など被害が多数発生した。災害対策本部の設置や避難所の設置、道路の通行止め、施設の点検などに対応し、現在も一日も早い復旧に向け懸命に取り組んでい

るところである。

副市長

被害の状況としては、農林漁業関係で586件、国や県の災害復旧事業に該当する農地災害、90件、農業施設災害54件、林務災害、10件となっている。なお今回の豪雨は過去に例を見ないほどの雨量であったことを踏まえ、市の単独予算で措置している、農薬用施設原材料等支給の弾力的運用により、重機、コンボ等の借り上げ代やオペレーター代も支給できるようにした。

また、道路などの土木関係の被害報告書は、558件で、そのうち公共施設災害、77件と市単独災害30件、計107件については災害検査が終わりたいと考えている。

黒岩議員

今回の大雨は

記録的大雨で、特に有馬川、龍石川、有家川、大手川等、県が管理している2級河川の氾濫による被害が多かったと思う。被害を受けた農地を含めた対策を県に対し、強く要望してほしい。また、

有馬川や浦口川での氾濫によって、北有馬支所や

その周辺の民家も浸水した。原因の追究と対策を願いたい。

松本市長

浦口川が、堆積物でせき止められて住宅の浸水被害があったので、改めて河川の管理の重要性について認識したところである。ただ、2

級河川の管理については、県の管理となっているので、河川災害防止のため、河川内の堆積土砂の排出、また、川竹などの除去及び護岸の整備について、特段の措置を講じていただくよう、県へ独自要望し、地域住民の浸水被害の解消と軽減を図るため、特段の整備を重ねてお願



豪雨による土砂崩れ（坂下公民館付近）

有家駅下国道 交差点の進捗 状況

市長／近日中に現場立会いの予定



草柳 寛 衛 議員

世界遺産登録について

草柳議員 6月の豪雨に

よる影響はないのか。また、ユネスコが財政難で、審査も一段と厳しくなると指摘したとの報道に対しての考えは。

教育長

原城跡の被害

は7カ所の土砂崩落が発生しているが、小規模で影響はない。

また、新聞報道では、年1回の審査で扱う対象件数を、45件から25件に減らす検討に入ったとのこと。適用されると、資産の審査が遅れ、登録へ

すが落ちる恐れがあると考えている。

草柳議員

本市の原城跡

は大丈夫なのか。

教育長

登録が速やかに成るように願うばかりである。

草柳議員

今回、タイト

ルが「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」になった、というのはどのような経緯か。

松本市長

教会だけが主

眼であるかのような印象を受ける教会群ではなく、禁教区の集落に視点を当てたものに価値がある、というイコモスの指導があり、県の会議の中で了承されてこの名称になった。

市役所統合について

草柳議員

有家庁舎の耐

震等の工事をするとのことだが、建設部、水道部を有家庁舎に持つてくる計画はやるべきでは。

松本市長

仕事を

する職員や、市民の皆さん方の安全安心のため、早急に耐震改修工事を行うように進めているので、庁舎の再編整備については、今後時間をかけて十分検討していきたい。

今の段階で改築、新築というのはあり得ない。

道路改良整備について

草柳議員

国道251号、

新田橋より深江線歩道整備の進捗状況は。

建設部長

現在、布津町

の新田橋付近の約200mの工事を行っている。

海側の開水路を蓋付きの側溝に変え、車道の幅と人が歩けるスペースを整備している。

草柳議員

深江までの歩

道の完成はいつ頃か。

建設部長

島原振興局の

考えは、32年度の完成を目指している。